

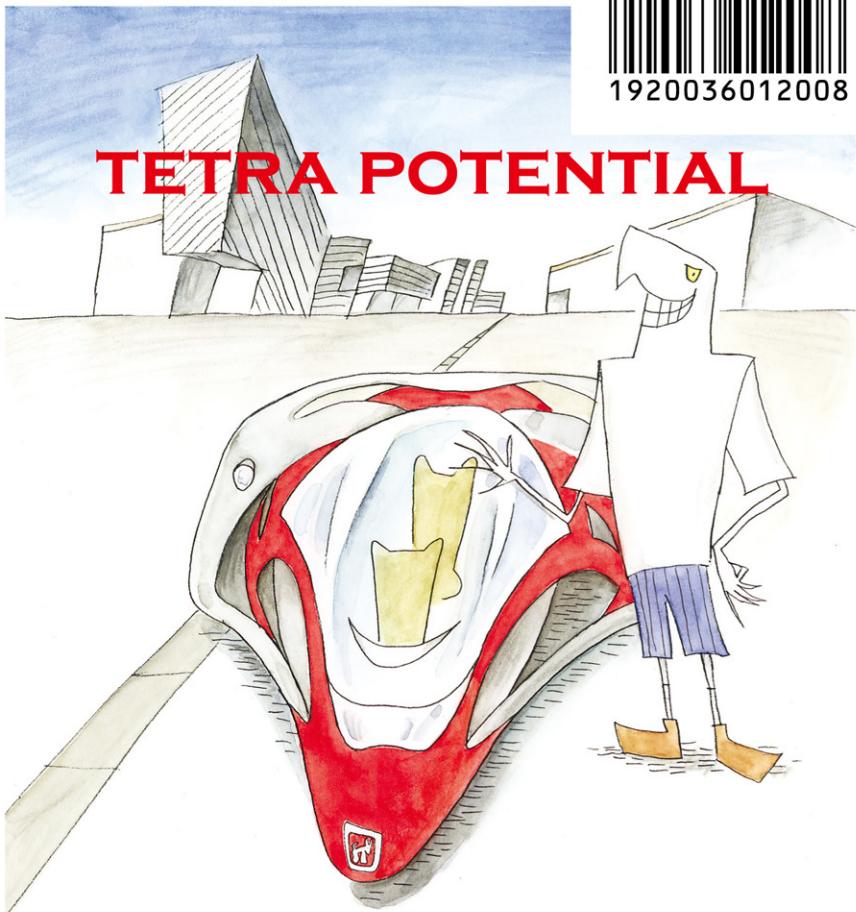
ISBN4-8118-5003-3

C0036 ¥1200E

発行/ヌールエ 発売/太郎次郎社 定価/本体1200円(税別)



TETRA POTENTIAL



BUJI

卵型のコックピットに乗り込めば、
そこには超感覚的なスーパードライビングが待っている。
高感度な運動性能と、たぐいまれな安全性能をあわせもつ、
テトラスタイルのクルマがいま誕生した

nurue Company

<http://nurue.com>

Animal conference
for environment

動物かんきょう会議

テーマ [クルマ]

Vol.03 nurue

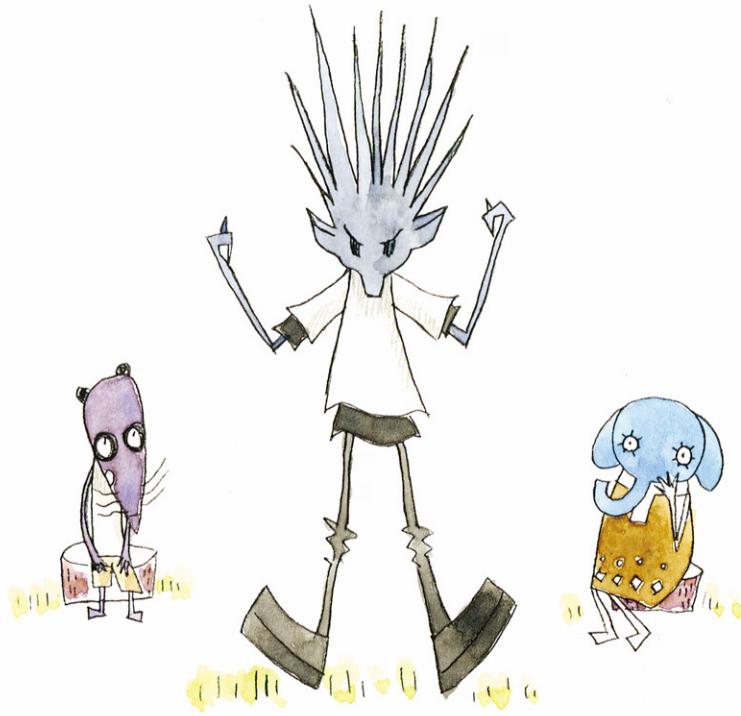




動物たちが、いそいそとお弁当のゴミをかたづけています。
「みなさん。会場もきれいになったみたいだし、
そろそろ会議をはじめたいと思いますが」
ハリィのかけ声に動物たちは腰をおろしはじめました。

おや、ひとり足りないようです。
真っ先に気がついたのはトラジーでした。
「あれ、ワッショイがないぞ。
缶ジュースを買いにいったままもどってきていないんだ！」
動物たちはおたがいに顔を見あわせています。





「なんだってえーっ！

この大切な会議をいったいなんだと思ってるんだ！」

ハリィはカンカンです。動物たちもざわめきはじめました。
ちょうどその時。ワッショ、なんとオープンカーに乗ってあら
われたのです。コーラの缶を片手に、ふんぞりかえって運転
しています。

あっけにとられている動物たちの前に、クルマをとめてゆう
ゆうとおりてきたワッショ。

「やあ、おまたせ、おまたせ。自動販売機をさがしまわって、
オレもうヘトヘトよ。やっとスーパー見つけてコーラにあり
つけたんだ。会議におくれちゃまずいと思ってレンタカー
でとばしてきたんだぜ！ へへん」
得意げにゴクッとコーラを飲みほしたのです。



こんなワッシのふるまいに、さすがのトラジーも堪忍袋の緒が
きれてしまいました。

「ワッシっ！ きみはいったいなにを考えているんだ？
たかがコーラを買いにいって、クルマに乗ってくるだなんて！
しかもそんな大きなクルマに・・・」

ハリイも、怒りのためにからだじゅうのハリが総立ちになって
います。

「まったくそのとおり。ぼくの美しいドイツの森を排気ガス
なんかで汚さないで！ 歩いてくださいよ。歩いて！」



ところがワッシは、そんな非難もどこふく風と、
ピカピカひかるクルマのボンネットをいとおしそうになで
まわしながら

「まったくう、なに時代おくれなこといってんだよ。
クルマに乗ってなにが悪いんだよお。カッコイイジャン。
こういうゴツツイクルマって」
とひとりごとをいっています。



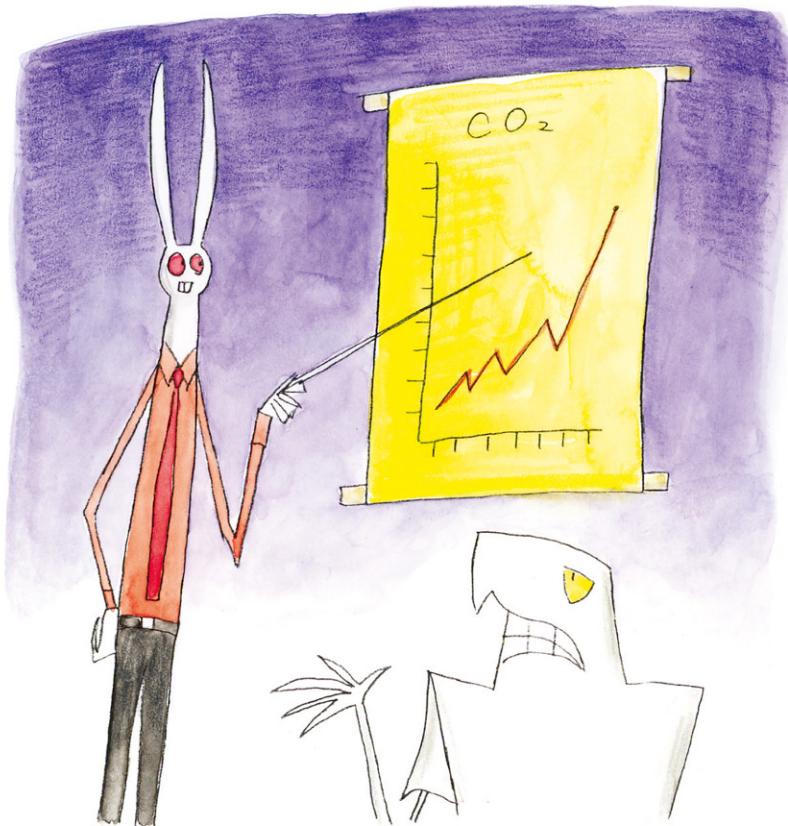
トラジーが、もう我慢ならないと、大きな声でワッシをさとし
はじめました。

「時代おくれは、ワッシ。きみのことだぞ。
クルマの排気ガスがどんなに地球の空気を汚しているかが
今、大問題になっているんだ。知らないのかい？」

Dr.ラビがすばやく図表を広げました。

「コホッ、みなさん、この折れ線グラフを見てみましょう。

これは、地球大気中の二酸化炭素濃度の、あまりに急激な増加をしめしております。ハイッ」

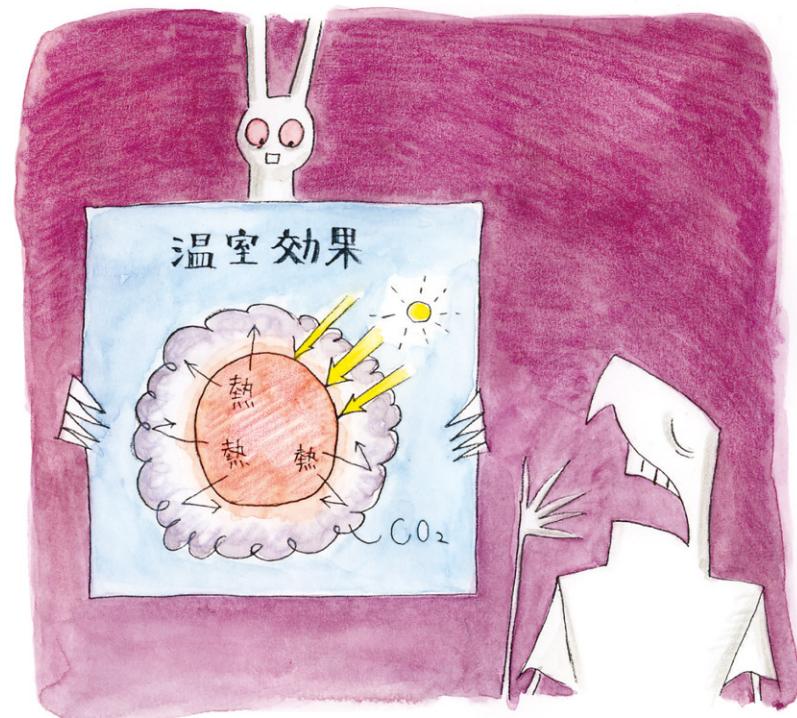


「それがどうかしたのかよ？」

ワッシが気のない様子でたずねました。

そこで、おもむろにDr.ラビがとりだしたのは「温室効果」と書かれたボードです。

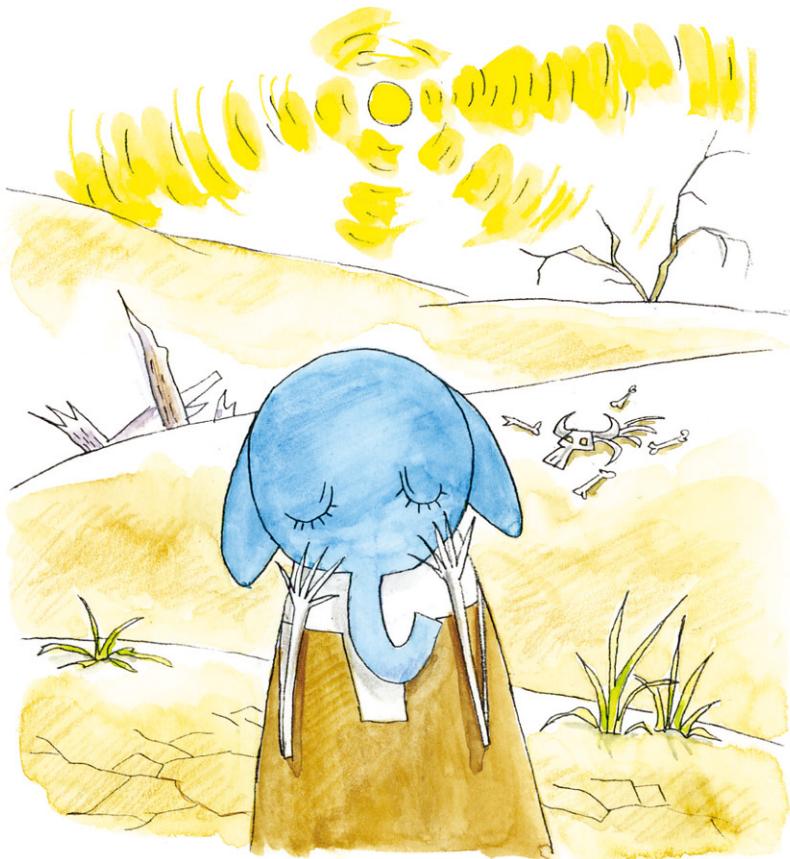
「コホン、排気ガスのために増え続けている二酸化炭素のせいでの、今、地球の温度がすこしづつ上がってきています。ハイ」



「それがどうかした？」

ワッシは大きくあくびをしました。

「ワッシャン、知らないの？　このまま気温が上がり続け
ると、砂漠がどんどん広がって、植物は枯れてしまい、
人や動物はみんな飢え死にすることになるのよ」
ゾウママが声を震わせました。



「ハイッ。砂漠も増えますし、さらに南極や北極の氷も溶けてしまうので、海水の量が増えて、海につかって
しまう国がたくさんでてきます」

Dr.ラビが語る恐ろしい未来。動物たちは思わず息をのみま
した。

ワッシャもここにきてやっと、クルマに乗ることがなぜ環境に
悪いのかが理解できたようです。きまり悪そうにクルマの
キイをクルクルまわして下を向きました。

